

インタラクティブスタディによる教科学習 ～実践と未来～

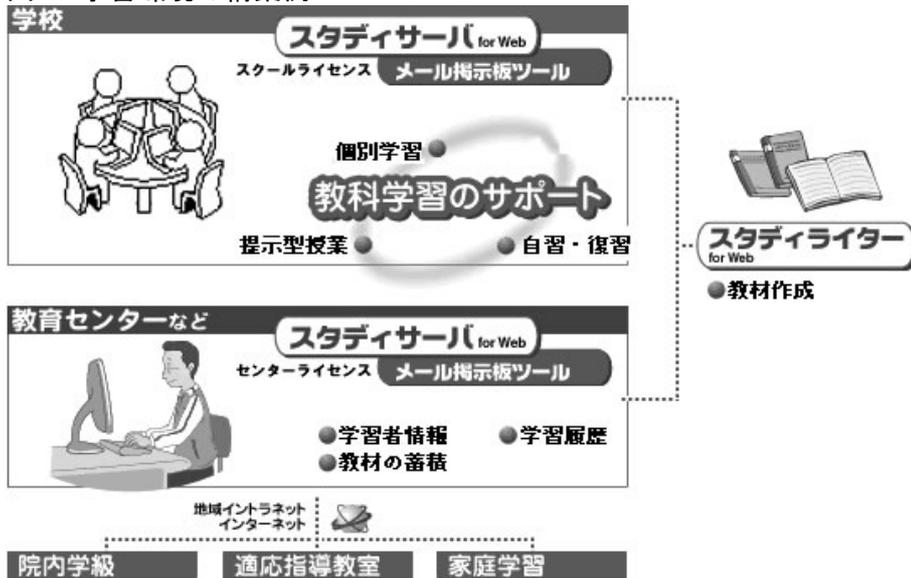
ー インタラクティブスタディを活用した、学校内と地域・家庭・適応指導教室・での教科学習 ー

シャープシステムプロダクト株式会社 文教統轄営業部・係長 塚村 篤
 キーワード：スタディシリーズ, インタラクティブスタディ, 教科学習,
 教材作成, ユビキタス, 家庭, 適応指導教室

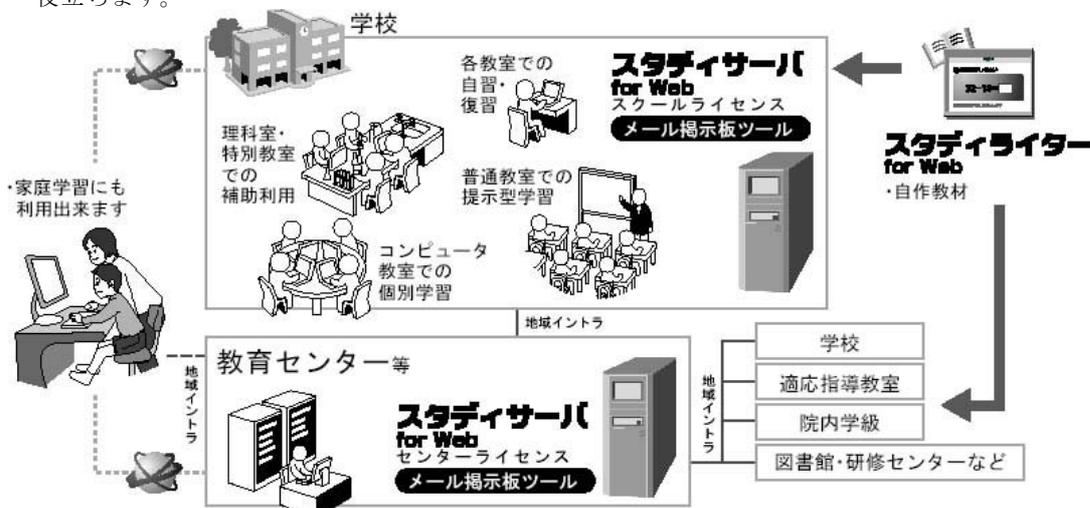
1. はじめに

学校および地域・家庭で、教科学習がユビキタスに行える環境を作るには？ 「インタラクティブスタディ」を使うと、都合のよい時間・都合のよい場所で学習する環境を作ることができ、さらに「メール掲示板ツール」で教材に関連づけた先生への質問や子どもたちへの返答・指導、子どもたちどうしがコミュニケーションをはかれる環境を作ることができます。

2. ユビキタス学習環境の構築例



- ・ インタラクティブスタディは、Webブラウザがあればコンピュータ教室での個別学習、普通教室での提示型学習をはじめ、パソコンコーナーや図書室など、パソコンと校内ネットワークが利用できる場所から自習・復習が行え、地域の学習施設や家庭でも、自学自習、適応指導教室、などにWebブラウザがあれば学習ができる環境を構築できます。
- ・ 子どもたちは一人ひとりのペースで、都合のいい時間に都合のいい場所から学習がおこなえ、学習の続きを別の場所のパソコンから行うこともできます。「メール掲示板ツール」を使えば、学習ごとにメールと掲示板が利用でき、教材に関連づけた先生への質問や掲示板を利用したコミュニケーションがはかれ、学習意欲の向上に役立ちます。

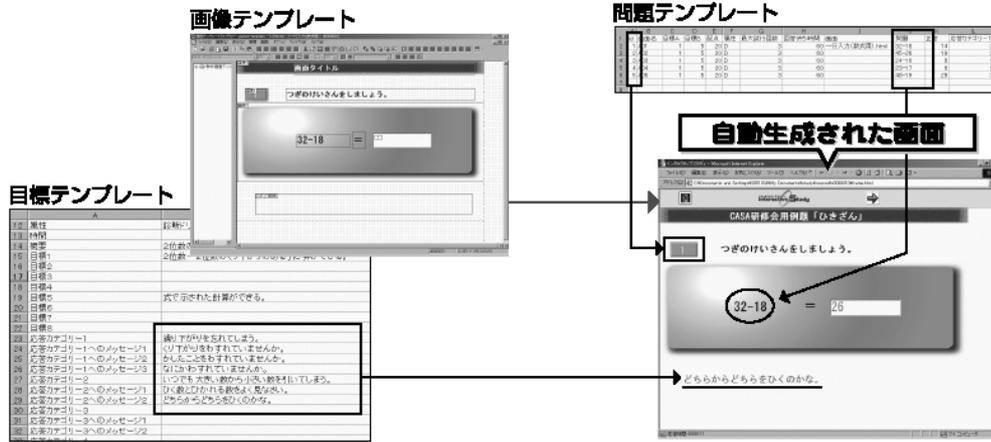


※インタラクティブスタディ用の教材が、教育機関のホームページなどで多数公開されています。

3. Webベースの教材作成も容易

- ・ スタディライター for Web を使えば、Webベースの教材を簡単に作成することができます。また、学習結果を反映させた教材の手直しもできます。
- ・ スタディライター for Web には、さまざまな目標・問題テンプレート、画面テンプレートが付属しています。テンプレートを利用して、評価用ドリル教材を短時間で簡単に作成することができます。

CASA(Computer Assisted Self Assessment) 機能によるテンプレートを利用した教材の自動生成



※作成した教材は編集することができ、他の教材に組み込むことも可能です。

4. 実践事例

- 1) インタラクティブスタディを市で導入、小中学生が家庭からも活用（A市教育委員会）
 - ・ 校内ネットを使って学校から、また、インターネットを使って家庭から、小学校200教材以上・中学校200教材以上を、自由に自分のペースで学習することができるシステムです。
 - ・ 課題は一人ひとりの学習理解状況に応じて提供され、自分のペースで学習を進めることができるので、確実にステップアップを図る事ができます。また苦手なところを何度でも繰り返し行ったり、発展的な学習に進んで取り組むこともできます。
- 2) 先生が作成した800本を越える学習教材を、県内小・中・高等学校で共有活用（B県教育委員会）
 - ・ 先生方が作成した800本を越える学習教材があり、多数の教材の中から目的にあった教材を選んで授業で使うことができます。
 - ・ 学習教材は「共有システム」を使って管理されています。先生方が作成した教材を簡単に登録することができ、小・中・高等学校、特殊教育諸学校の学習教材やテストの過去問題などが登録されており、キーワード検索やアクセスランキングなどの機能を活用して目的の教材を検索することができます。

5. インタラクティブスタディを構成するソフトウェア

- (ア) スタディライター for Web … 教材作成支援ソフトウェア
- (イ) スタディサーバ for Web スクールライセンス … 学校内学習支援ソフトウェア
- (ウ) スタディサーバ for Web センターライセンス … 地域内学習支援ソフトウェア
- (エ) メール掲示板ツール … コミュニケーション支援ソフトウェア

以上